

Daigasグループバリューチェーンの環境負荷 (2023年度)

Daigasグループ事業全体のバリューチェーンを対象に、温室効果ガス(GHG)排出量を算定しました。算定は、国際標準であるGHGプロトコルのガイダンスに基づいて実施し、その方法および結果については、第三者機関により信頼性、正確性に関する検証を受けています。

2023年度のGHG排出量については、以下のとおりです。

GHG排出量総計… **2,563** 万t-CO₂e

● スコープ1,2… **477** 万t-CO₂e (全体の19%)

● スコープ3… **2,087** 万t-CO₂e (全体の81%)

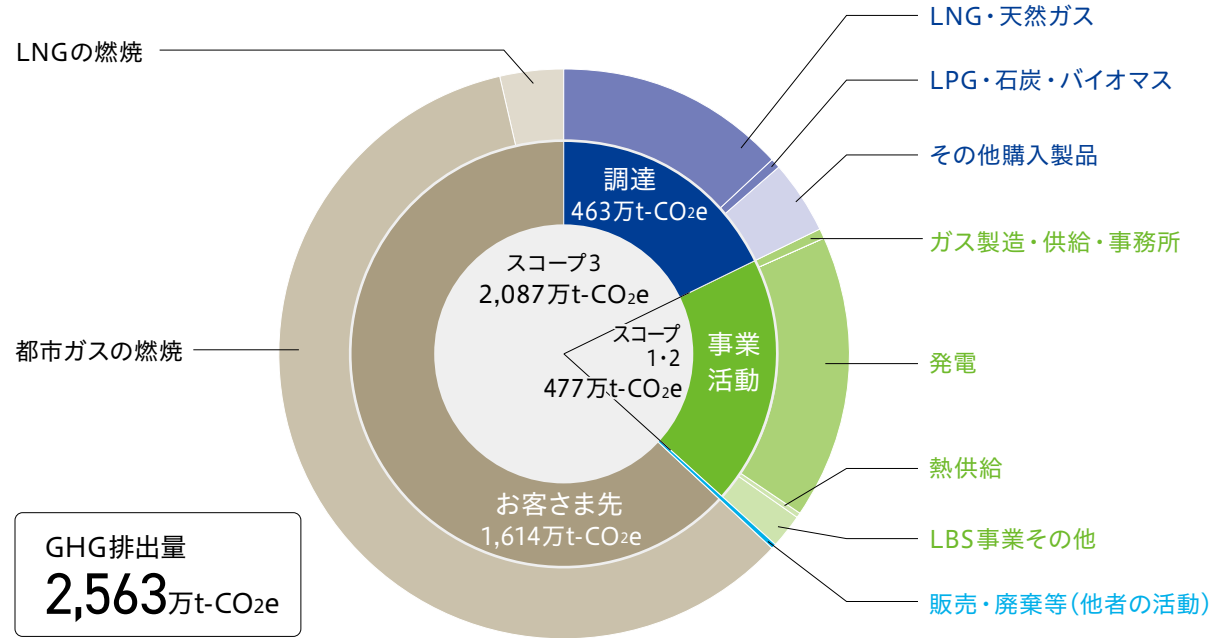
主な排出要因

- 全体の約63% (1,614万t-CO₂e) が都市ガス・LNGの燃焼に起因するお客さま先での排出です。
- 全体の約16% (403万t-CO₂e) が、発電事業による排出で、自らの事業活動における排出量の大半を占めます。
- 原材料や燃料の調達による排出が約18% (463万t-CO₂e) です。そのうち、LNG等のエネルギーの調達によるものが7割を占めています。

環境負荷低減の取り組み

- お客さまへの最新鋭の高効率発電設備や再生可能エネルギー電源の導入による排出削減に今後も取り組んでいきます。
- 原料調達において、サプライヤーと連携した取り組みや輸送船の燃費向上等に引き続き努めます。

バリューチェーンにおけるGHG排出量 (2023年度実績)



算定対象：大阪ガス(1社)と、連結子会社159社のうち、データ把握が困難かつ環境負荷の小さい、テナントとして入居している会社ならびに海外の会社を除いた関係会社(66社)の計67社。
 なお、GHG排出量については海外子会社(2社)を追加しています。

【使用したCO₂排出係数(GHGスコープ1・2)】

- 電気：0.65kg-CO₂/kWh (地球温暖化対策計画(2021年)、2013年度の火力平均の電力排出係数)
- 都市ガス：2.29kg-CO₂/m³ (当社データ)
- その他：地球温暖化対策推進法の省令値

【使用したCO₂排出係数(GHGスコープ3)】

- 都市ガスの生産・輸送に関する排出係数：出典元(一社)日本ガス協会ウェブサイト「都市ガスのライフサイクル評価」
- LNGの生産・輸送に関する排出係数：出典元「LNGおよび都市ガス13Aのライフサイクル温室効果ガス排出量の算定」(第35回エネルギー・資源学会 研究発表会 講演論文集 2016年6月)
- LPG、石炭の生産・輸送に関する排出係数：出典元「LNGおよび都市ガス13Aのライフサイクル温室効果ガス排出量の将来予測」(「エネルギー・資源」第28巻、第2号 2007年3月)
- その他の主な排出係数：環境省「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース (Ver.3.3)」(2023年3月)